

---

# レツゴーきちがいくん

自殺肢体

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

レツ「一」きちがいくん

### 【著者名】

N1620D

### 【作者略】

自殺肢体

### 【あらすじ】

気違にも良い悪いがあるんだよ。

(前書き)

人物名は、架空のものです。

世の中には、良い気違いと悪い気違いがいると思つてゐる。

他人に迷惑かける気違いは悪い気違い！

そんなヤツは良い気違いであるオレ、高坂幸男（こうさか こうやお）が許さない！

街を普通に歩いていると、左斜め前方122メートルの地点から

女性の悲鳴が！

「キヤー助けて！」

女性が悪い気違いに襲われてる感じの悲鳴だ！

しかしながら、なんのヒネリもない悲鳴だ！

つまらない！ 助ける氣にもならない！

ていうか今はコロッケ（トライアルで五個百円の安いやつ）  
を食べているから助けに行くことはできない！ ちょっと待つてて  
もうおうー。

「今コロッケ食べてるからあと一分ほど待つてーーー！」

「わかりましたーーー！」

五秒ほどで女性から返答。これで安心！

「ロッケを食べ終わって手が油でべトベトだ！ 気持ち悪い！ もつもつと女性には待つてもらおうと思つたけど、やつぱ止めた。ダッシュで悲鳴女性のところまで行くと、やつぱなんと一暗算を女性に強要してくる男が！

なんとこう事だ……。かよわい女性に暗算を強要するなんて！

「へつへつへ、12×15はなんだ？ 答えてみるよー。へへへー。

「ひい……わからない！ た、助けて」

見た目、セックストスイーツのことしか考えてなきもつな量産型の若い低知能な女性に、あのような難しい暗算を解くことを強要するなんて！ なんとこう極悪人なんだ！ 世の中狂つとるぞ！ めんどくせえけど助けてみよー。

「やめろー。」

「誰だお前はー。」

「高坂幸男だー。」

「なんだと高坂幸男だと?ー。」

「知ってるのか！ オレは有名かー。」

「知らんー。」

「じゃあ帰れ！」

「わかった。帰つてドラゴンボールの再放送を観る」

「知るか！ わたと帰れ！ あと、女性に暗算を強要したら警察のおじさんにぶつ殺されるから今度から気を付けてね！」

「うぬせえー ようなら」

暗算強要魔はダッシュで地平線の彼方へ消えてつた。すぐ速い！ オリンピックに出ればいいのに！

とりあえず女性はもう安心だ。美人だ。誰がどう見ても23歳の乙女だ。化粧くせえ！

「大丈夫でしたか、美しいお嬢さん」

「うぬせーーー！」

怒声とともに、重い拳がオレの水月にめり込む！

「オゲゲーー！」

「ゲロ吐いた！ 苦しい！」

「お嬢さんじやねえ！ オレはニユーハーフだ！ 不愉快だ！ 死ね！」

ニユーハーフが襲いかかってきた！ このままではオレの命が危

険すぎるー。殺そつ！

「死ね！ 即死パンチ！」

説明しよう！ 即死パンチとは、喰らつたが最後、一時間後に即死するという、なんだかよくわかんねえけどオモシロかつこいいパンチなんだ！

「ギャアア」

なんやかんやあつて一時間後、ニュー・ハーフは即死した！ 危なかつたぜ……。殺されて死ぬとこだつたぜ。

よし、今日はもう帰らひ。良いこともしたし、さよなら。

(後書き)

勢いだけで書いたのな。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1620d/>

---

レツゴーきちがいくん

2010年10月17日10時03分発行